

發行した。

育教運動の方針及傾向

我同盟の教育方針は、一言にして盡くせば「健全なる組合主義の徹底」であるが、特に本年度に於ける各加盟組合の教育的會合は、滿洲問題、フアシズム、世界恐慌に關する智識を要求するものが多かつた。尙特に注目すべきは、組合の建設的方面に關する眞摯なる研究が擡頭しつつあることである。
同盟は今後此方面に向つて努力を傾注する方針である。

政黨關係

社會大衆黨の支持

社會大衆黨成立したる經過は、本報書に前述されて居る如くであるが、第四回中央委員會（七月廿五日に於て支持することに決定した。總同盟として西尾、原、齋藤の三名を中央執行委員に推選した。
社會民衆黨は、總同盟が當時の状況に依り止むを得ず、全責任を負ふて創立したものであり、従つて、黨と組合の關係も極めて密接なるものがあつたのであるが、社會大衆黨成立を機會に、主として經濟運動に力を注ぐ方針を採り、松岡主事も黨役員を一切辭した。

選舉成績

種別	候補者	選舉區	選舉年月	得票數	當落
同	片山 晉	神奈川二區	七・二	二六、六五一	當
同	松永 義雄	埼玉一區	七・二	九、一六四	同
同	西尾 末廣	大阪三區	七・二	三、一五六	同
同	松岡 駒吉	東京五區	七・二	六、五五二	同
府縣會	村尾 重雄	大阪北區	七・二	七、六七九	同
同	塚本 重藏	同北區	七・二	一、五五七	同
同	伊藤 卯四郎	同北區	七・二	二、九三二	當
同	堀越 梅男	福岡八幡	七・二	五、一九六	落
同	佐藤 才五郎	埼玉	七・二	一、二五〇	落
同	原 虎一	埼玉	七・二	一、二〇〇	同
同	熊本 虎藏	東京荏原	七・二	一、六三六	同
同	土井 直作	東京南葛	七・二	一、七九二	同
同	門司 亮	横濱	七・二	三、二六四	當
同				一、五一	同

大會及中央委員會

第廿回大會

第廿回大會は昭和六年十一月十五日より三日間、東京、日本労働會館に於て開催された。
出席代議員 四十四組合 三百三名